

医療技術

【検査科】

『講義』

講義	名：	国際医療福祉大学 医学検査学科講義
開催	日：	2025 年 12 月 25 日
場所	所：	千葉県成田市
演題	題：	臨床検査技師の仕事 ～現場目線から～
演者	者：	舎川衛

『講演』

講演会	名：	第 11 回合同学術集会
開催	日：	2025 年 12 月 13 日
場所	所：	静岡県浜松市
講演	名：	健診センターにおける追加検査可能日数の検討
講演	者：	桐谷香帆

【薬剤科】

『論文』

雑誌	名：	日本病院薬剤師会雑誌
題名	名：	手術室担当薬剤師が培養検査を提案し診断と治療に貢献し得た Cutibacterium acnes による脊椎インプラント感染症の 1 例
著者	者：	平野公基、本田勝亮、高岡雄一、堀井亮平、柏原道志、長岡翔、 北田絢子、原田萌衣、市村仁志、小谷俊明、矢部勝茂、富田歩子
巻、ページ、年度	：	62 (2) 179-183、2026

雑誌	名：	千葉県病薬会報
題名	名：	当院の CKD シール運用について
著者	者：	飯塚由佳
巻、ページ、年度	：	第 230 号、P13 ～ 15、2026

『国内学会』

学会	名：	第 98 回日本整形外科学会学術総会
開催	日：	2025 年 5 月 22 日～ 25 日
場所	所：	東京都千代田区
演題	題：	薬剤師視点でみた地域連携
演者	者：	鈴木諒、岸田俊二

学 開 場 演	会 催	名： 第 11 回日本医薬品安全性学会学術大会 日： 2025 年 8 月 2 日 所： 愛知県名古屋市 題： シンポジウム 2 感染症治療薬の安全対策 - 症例から見えてきた問題点への対応-抗菌薬による重大な副作用の症例検討 検査値異常からの副作用のアプローチ
演		者： 平野公基
学 開 場 演 演	会 催	名： 日本病院薬剤師会関東ブロック第 55 回学術大会 日： 2025 年 8 月 2 日 所： 茨城県つくば市 題： ワルファリンとトラマドールの併用により PT-INR が延長した一例 者： 中谷有岐、平野公基、北畠千種、市村仁志、富田歩子
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 27 回日本骨粗鬆症学会 日： 2025 年 9 月 12 日～ 14 日 所： 千葉県千葉市 題： 大腿骨近位部骨折後におけるデノスマブ外来受診率調査 者： 鈴木諒、岸田俊二、加藤木丈英、木村弘美、富田歩子
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 35 回日本医療薬学会年会 日： 2025 年 11 月 22 日～ 24 日 所： 兵庫県神戸市 題： <i>Cutibacterium acnes</i> による脊椎インプラント感染症治療中に発症した Ceftriaxone による好中球減少症の一例 者： 平野公基、中谷有岐、北畠千種、市村仁志、飯島靖、富田歩子
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 35 回日本医療薬学会年会 日： 2025 年 11 月 22 日～ 24 日 所： 兵庫県神戸市 題： 疑義照会簡素化プロトコル新規項目導入後における現状把握と課題の検討 者： 北田絢子、鈴木諒、土橋夏美、松田裕美、三和知佳、飯塚由佳、富田歩子
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 1 回日本炎症免疫薬学会学術集会 日： 2026 年 3 月 13 日 所： 神奈川県横浜市 題： シンポジウム 2 「周術期における免疫抑制薬の休薬の現状と課題」 者： 平野公基

『講義』

講 開 場 演 演	義 催	名： 横浜薬科大学 実務実習事前教育 日： 2025 年 6 月 19 日 所： 神奈川県横浜市 題： 実務実習事前教育 無菌調製とケミカルハザードの回避について 者： 平野公基
-----------------------	--------	---

講 開 場 演 演	義 催	名： 佐倉市立王子台小学校 キャリア教育講演会 日： 2026年3月5日 所： 千葉県佐倉市 題： 薬のスペシャリストの秘密 者： 富田歩子
講 開 場 演 演	義 催	名： 北海道科学大学 薬剤師生涯学習 病態・薬物治療フォローアップ講座 第3回骨粗鬆症 日： オンデマンド配信 所： Web 題： 骨粗鬆症薬物治療 者： 鈴木諒

『講演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名： Asahi Osteoporosis OLS Seminar in NARITA 日： 2025年7月16日 所： 千葉県成田市 名： 薬剤師が支える骨折予防ケア～ FLS と地域連携の実践から～ 者： 鈴木諒
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名： 不眠症診療 Web セミナー in 佐倉 日： 2025年9月30日 所： 千葉県千葉市 名： 今後の睡眠薬のあるべき姿とレンボレキサントへの期待 ～実臨床におけるレンボレキサントの使用経験を踏まえて～ 者： 富田歩子(座長)
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名： 横浜薬科大学同窓会「浜薬会」開学20周年直前記念講演会 (感染症・地域活動)研修会 日： 2025年10月12日 所： 神奈川県横浜市 名： 薬局薬剤師が知っておくべき感染症 ～予防策・キードラッグとその相互作用トピックスについて～ 者： 平野公基
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名： 第10回千葉骨粗鬆症研究会 日： 2025年11月8日 所： 千葉県千葉市 名： 骨粗鬆症リエゾンサービスにおける薬剤師の挑戦と可能性 者： 鈴木諒
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名： 第13回東京(関東)医薬品安全性研究会 日： 2025年11月16日 所： Web 名： 抗菌薬による薬剤性肝障害の評価と対応 者： 平野公基

講演会	名：	第10回佐倉薬剤師ネットワーク研修会
開催	日：	2026年3月2日
場所	所：	Web
講演	名：	肺がんレジメン(アミバンタマブ+ラゼルチニブ療法)について
講演	者：	天野正康

講演会	名：	第5回せいれいレジメン茶屋
開催	日：	2026年3月26日
場所	所：	千葉県佐倉市
講演	名：	Nivolumab+SOX療法
講演	者：	鈴木諒

『その他』

その日	の	他：	横浜薬科大学 薬学概論Ⅰ
会場		付：	2025年4月5日
題氏		所：	神奈川県横浜市
		名：	ジャンプアッププログラム：卒業生との懇親会
		名：	平野公基

その日	の	他：	千葉県病院薬剤師会
会場		付：	2025年5月10日
題氏		所：	千葉県千葉市
		名：	第84回臨時総会
		名：	富田歩子(議長)

その日	の	他：	日経メディカル連載コラム 抗菌薬はAST専従薬剤師にお任せを！
会場		付：	2025年12月25日
題氏		所：	Web
		名：	培養検査が外部委託の施設、抗菌薬選択は？
		名：	平野公基

その日	の	他：	東邦大学薬学部
会場		付：	2026年2月14日
題氏		所：	千葉県習志野市
		名：	OB・OG就職懇談会
		名：	桑原健太

【放射線科】

『国内学会』

学	会	名：	千葉県診療放射線技師会第 76 回学術大会勉強会
開	催	日：	2026 年 2 月 1 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	嚥下造影検査に関わる医療従事者の被ばく線量低減の検討
演		者：	渡邊強

『講義』

講	義	名：	線量測定講習会 2025
開	催	日：	2025 年 4 月 27 日
場		所：	千葉県佐倉市
演		題：	患者照射基準点の線量測定と装置周辺の空間線量を理解しよう
演		者：	渡邊強

講	義	名：	画像技術学
開	催	日：	2025 年 6 月 20 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	画像技術学 I
演		者：	園田優

講	義	名：	画像技術学
開	催	日：	2025 年 6 月 27 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	画像技術学 I
演		者：	園田優

『講演』

講	演	会	名：	フレッシュャーズセミナー
開		催	日：	2025 年 6 月 1 日
場			所：	千葉県千葉市
講	演		名：	医療安全
講	演		者：	金子貴之

講	演	会	名：	OMNIBUS 第 17 回勉強会
開		催	日：	2025 年 6 月 7 日
場			所：	Web
講	演		名：	イチから学ぶSTAT事例 ～CT、一般撮影編～
講	演		者：	藤井智也

講	演	会	名：	第 17 回聖隷放射線部関東合同学術大会
開		催	日：	2025 年 6 月 13 日
場			所：	千葉県佐倉市
講	演		名：	散乱線除去グリッドの X 線入射位置が画質に及ぼす影響
講	演		者：	田家愛深

講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 演 演	名： 日： 所： 名： 者：	第 17 回聖隷放射線部関東合同学術大会 2025 年 6 月 13 日 千葉県佐倉市 MRI における金属アーチファクトの基礎的検討 多田百未
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 演 演	名： 日： 所： 名： 者：	第 2 回千葉・茨城合同 SIGNA User's Meeting(第 34 回千葉 UM/ 第 37 回茨城 UM) 2025 年 10 月 18 日 千葉県佐倉市 MR Myelography で“見えろグラフィー”～神経も血管も一網打尽～ 片岡義貴
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 演 演	名： 日： 所： 名： 者：	神奈川県診療放射線技師会 横浜西部地区勉強会 2025 年 12 月 3 日 Web 知らなきゃ損する！告示研修の今とこれから 園田優
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 演 演	名： 日： 所： 名： 者：	第 2 回千葉県臨床検査技師会・千葉県診療放射線技師会合同研修会 2026 年 2 月 8 日 千葉県千葉市 腎臓を診る、腎臓を読む～検査データー×臨床画像で深める臨床判断力～ MRI 編 多田百未
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 演 演	名： 日： 所： 名： 者：	第 1 回千葉県診療放射線技師会マネジメントスキルセミナー 2026 年 3 月 8 日 千葉県千葉市 リーダーシップとマネジメントの基礎 園田優
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 演 演	名： 日： 所： 名： 者：	第 28 回聖隷放射線部門合同学術大会 2026 年 3 月 14 日 静岡県浜松市 一般撮影「再撮影の現状と減少に向けた取り組み」 高石真人
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 演 演	名： 日： 所： 名： 者：	第 28 回聖隷放射線部門合同学術大会 2026 年 3 月 14 日 静岡県浜松市 スペシャリストによる知識技術の継承 CT 塚本悟之
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 演 演	名： 日： 所： 名： 者：	第 28 回聖隷放射線部門合同学術大会 2026 年 3 月 14 日 静岡県浜松市 放射線治療「症例を基にした施設の強みや特徴」 戸塚大輔

講演会場	名：	第 28 回聖隷放射線部門合同学術大会
	日：	2026 年 3 月 14 日
	所：	静岡県浜松市
講演者	名：	MRI「全身麻酔下 MRI を中心とした脊椎 MRI の運用」
	者：	花香夏生

【栄養科】

『国内学会』

学会開催場	名：	千葉県透析研究会
	日：	2025 年 12 月 7 日
	所：	千葉県千葉市
演題	題：	当院における維持血液透析患者の GLIM 基準による栄養評価と短期生命予後の関連について
演者	者：	小倉文子

学会開催場	名：	第 29 回日本病態栄養学会年次学術集会
	日：	2026 年 1 月 30 日～2 月 1 日
	所：	京都府京都市
演題	題：	慢性腎不全を呈する患者への切れ目のない介入により効果が見られた 1 症例
演者	者：	飯塚光

【臨床工学室】

『論文』

雑誌題	名：	千葉県臨床工学技士会会誌
	名：	ビタミン E 固定化ヘモダイアフィルタ「ヴィエラ V-RA」が ESA 投与量に与える影響の検討
著者	者：	保科正浩
巻、ページ、年度	第 31 号、60 ページ、2025 年度	

雑誌題	名：	腎と透析 99 巻別冊 アクセス 2025
	名：	スマートフォンと自作電子聴診器を用いた簡易的 VA 機能評価方法の検討
著者	者：	小林大輔
巻、ページ、年度	99 巻、120 ページ、2025 年度	

『国際学会』

学	会	名：	台湾透析技術学会
開	催	日：	2026 年 1 月 11 日
場		所：	台湾高雄市
演		題：	透析室におけるリスク管理(災害対策を含む) 『Risk Management in Dialysis Units - Including Disaster Preparedness -』
演		者：	阿部拓馬

『国内学会』

学	会	名：	第 35 回日本臨床工学会
開	催	日：	2025 年 5 月 17 日～18 日
場		所：	大阪府大阪市
演		題：	当院の脊髄刺激療法外来における記録内容統一化の効果
演		者：	植山奈美子

学	会	名：	第 35 回日本臨床工学会
開	催	日：	2025 年 5 月 17 日～18 日
場		所：	大阪府大阪市
演		題：	一般演題：VA ②
演		者：	小林大輔(座長)

学	会	名：	第 70 回日本透析医学会学術集会・総会
開	催	日：	2025 年 6 月 27 日～29 日
場		所：	大阪府大阪市
演		題：	レオカーナ治療における血清 Ca 値の変化
演		者：	小林大輔

学	会	名：	日本透析アクセス医学会
開	催	日：	2025 年 9 月 13 日～14 日
場		所：	東京都墨田区
演		題：	清潔性を担保した実用的なエコー下穿刺物品の検討
演		者：	小林大輔

学	会	名：	第 52 回千葉県透析研究会
開	催	日：	2025 年 12 月 7 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	清潔性を担保した実用的なエコー下穿刺物品の検討
演		者：	小林大輔

学	会	名：	第 30 回千葉県臨床工学会
開	催	日：	2026 年 1 月 25 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	より簡単に！素早く！透析情報へのアクセスを可能にした『防災 QR コード』
演		者：	古屋淳子

学	会	名：	第 30 回千葉県臨床工学会
開	催	日：	2026 年 1 月 25 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	一般演題 2「循環・呼吸器関連」
演		者：	中條馨代(座長)

『講義』

講	義	名：	第 17 回千葉 IVR 技術セミナー Part1
開	催	日：	2025 年 5 月 25 日
場		所：	Web
演		題：	心電図の基礎と原理, 代表的疾患の波形から学ぶ
演		者：	掛谷祐太

『講演』

講	演	会	名：	第 30 回千葉県臨床工学会
開		催	日：	2026 年 1 月 25 日
場			所：	千葉県千葉市
講	演		名：	受入側施設としての災害準備と課題 ～透析医療における災害対応の実際～
講	演		者：	阿部拓馬

講	演	会	名：	第 14 回 JHAT 隊員養成研修会
開		催	日：	2026 年 2 月 28 日
場			所：	千葉県千葉市
講	演		名：	災害時情報収集シミュレーション机上訓練 1 ～千葉 大規模停電対応～ 受け入れ側施設としての災害準備と課題 ～透析医療における災害対応の実際～
講	演		者：	阿部拓馬

『その他』

そ	の	他：	聖隷 CE L01 研修
日		付：	2025 年 10 月 25 日
場		所：	静岡県浜松市
題		名：	業務参画を通じて学んだこと
氏		名：	掛谷祐太

そ	の	他：	聖隷 CE L01 研修
日		付：	2025 年 10 月 25 日
場		所：	静岡県浜松市
題		名：	「私が挑戦していることと、描く将来像」
氏		名：	河村響(座長)

そ	の	他：	聖隷 CE L01 研修
日		付：	2025 年 10 月 25 日
場		所：	静岡県浜松市
題		名：	再穿刺に向き合う私の挑戦信頼される透析環境の実現に向けて
氏		名：	岡野孝祐

その 日 場 題 氏	の	他： 第3回聖隷CE学会 付： 2026年2月15日 所： 千葉県佐倉市、静岡県浜松市 名： 医療者が患者になって初めて見えたこと ～命・安全・信頼はどこで揺らぐのか～ 名： 石井博
その 日 場 題 氏	の	他： 第3回聖隷CE学会 付： 2026年2月15日 所： 千葉県佐倉市、静岡県浜松市 名： Stealth station S8 と O-arm2 を使用したことによるナビゲーション時間短縮効果についての検証 名： 原田拓也
その 日 場 題 氏	の	他： 第3回聖隷CE学会 付： 2026年2月15日 所： 千葉県佐倉市、静岡県浜松市 名： Green Dialysis 名： 小林大輔(座長)

【リハビリテーション室】

『論文』

雑 題	誌	名： 理学療法学 名： 肩甲下筋断裂併発症例における鏡視下腱板修復術後5週の下垂位外旋可動域と術後12ヶ月の治療成績との関係
著 卷、ページ、年度：	者：	奥村太郎、伊勢昇平、小川侑男、廣田知佐恵、桑原康太、白井智裕 52 (3)、1-9、2025
雑 題	誌	名： Therapeutic Apheresis and Dialysis 名： Association between physical function and hospitalization among older patients with pre-dialysis chronic kidney disease after educational hospitalization: A single-center prospective cohort
著 卷、ページ、年度：	者：	Tabata.A、Yabe.H、Katogi.T、Mitake.Y、Oono.S、Fujii.T. 29、682-690、2025
雑 題	誌	名： Renal Replacement Therapy 名： Inpatient physical therapy and changes in physical function in an older patient with acute-phase IgA nephropathy: a case report with literature review.
著 卷、ページ、年度：	者：	Tabata.A、Yabe.H、Katogi.T、Mitake.Y、Oono.S、Fujii.T. 11、1-10、2025
雑 題	誌	名： Renal Replacement Therapy 名： Factors of geriatric syndrome associated with low physical function in older patients with chronic kidney disease: a cross-sectional study.
著 卷、ページ、年度：	者：	Tabata.A、Yabe.H、Katogi.T、Mitake.Y、Oono.S、Fujii.T. 11、59、2025

- | | | |
|-----------------|-----|---|
| 雑誌
題 | 名 : | Renal Replacement Therapy |
| | 名 : | Factors influencing presenteeism in employed patients undergoing hemodialysis: a single-center cross-sectional study. |
| 著
者、ページ、年度 : | 著 : | Tabata.A、Yabe.H、Katogi.T、Mitake.Y、Oono.S、Fujii.T.
11、101、2025 |
| | | |
| 雑誌
題 | 名 : | Monthly Book Medical Rehabilitation |
| | 名 : | 急性期（病院）におけるリハビリテーション治療（目標設定・メニュー・効果・問題点） |
| 著
者、ページ、年度 : | 著 : | 加藤木丈英、岸田俊二、小谷俊明
No.318:Page55-62、2025 |
| | | |
| 雑誌
題 | 名 : | 日本腎臓リハビリテーション学会誌 |
| | 名 : | 保存期慢性腎臓病患者における動脈硬化指標と骨格筋量の関連～性差も含めた検討～ |
| 著
者、ページ、年度 : | 著 : | 大野隼汰、田畑吾樹、矢部広樹、三嶽侑哉、加藤木丈英、藤井隆之
4（2）、159-168、2025 |
| | | |
| 雑誌
題 | 名 : | 理学療法科学 |
| | 名 : | 肩腱板断裂患者における鏡視下腱板修復術前後の睡眠と疼痛の変化－ピッツバーグ睡眠品質指数を使用して－ |
| 著
者、ページ、年度 : | 著 : | 廣田知佐恵、奥村太朗、小川侑男、桑原康太、白井智裕
40（1）、1-5、2025 |
| | | |
| 雑誌
題 | 名 : | Clinical and Experimental Nephrology |
| | 名 : | Effects of home-based exercise on physical function and health-related quality of life in older patients with pre-dialysis chronic kidney disease: a single-center randomized controlled trial. |
| 著
者、ページ、年度 : | 著 : | Tabata.A、Yabe0.H、Katogi.T、Mitake.Y、Oono.S、Yamaguchi.T、Fujii.T.
30、65-74、2026 |
| | | |
| 雑誌
題 | 名 : | 理学療法の科学と研究 |
| | 名 : | 拘縮を伴う腱板断裂における鏡視下腱板修復術後成績に関与する術前因子の検討 |
| 著
者、ページ、年度 : | 著 : | 小川侑男、伊勢昇平、奥村太朗、廣田知佐恵、桑原康太、白井智裕
17（1）、15-19、2026 |

『国内学会』

- | | | | |
|-----------------------|--------|-----|--|
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : | 第 54 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 |
| | | 日 : | 2025 年 4 月 17 日～ 19 日 |
| | | 所 : | 千葉県千葉市 |
| | | 題 : | 術後 40 年以上が経過した思春期特発性側弯症患者の運動能力と脊椎パラメーターの関係 |
| | | 者 : | 加藤木丈英、赤澤努、小谷俊明、飯島靖、佐久間毅、南昌平 |

学 開 場 演	会 催	名： 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会 日： 2025 年 6 月 27 日～ 29 日 所： 大阪府大阪市 題： 慢性腎臓病(CKD)患者における骨脆弱性と骨折リスクの検討(合同企画シンポジウム 2 日本骨粗鬆症学会・日本透析医学会合同企画「透析患者の骨折予防戦略」)
演		者： 加藤木丈英、藤井隆之、三嶽侑哉、田畑吾樹、大野隼汰、鈴木理志
学 開 場 演	会 催	名： 第 27 回日本骨粗鬆症学会 日： 2025 年 9 月 12 日～ 14 日 所： 千葉県千葉市 題： 透析導入患者における脆弱性骨折の疫学的調査(口述発表)
演		者： 加藤木丈英、藤井隆之、宮崎木の実、堀井亮平、鈴木諒、石田拓未、鈴木理志
学 開 場 演	会 催	名： 第 27 回日本骨粗鬆症学会 日： 2025 年 9 月 12 日～ 14 日 所： 千葉県千葉市 題： 多職種連携による骨折予防トータルケア体制の実装と成果-「さくらモデル」と「骨粗鬆症マネージャー外来」を活用した地域主導型アプローチの実践-(OLS スキルアップシンポジウム)
演		者： 加藤木丈英、小谷俊明、木村弘美、鈴木諒、石田拓未、岸田俊二、藤井隆之
学 開 場 演	会 催	名： 第 27 回日本骨粗鬆症学会 日： 2025 年 9 月 12 日～ 14 日 所： 千葉県千葉市 題： ポスター 21「転倒予防・サルコペニア・ロコモ」
演		者： 加藤木丈英(座長)
学 開 場 演	会 催	名： 第 7 回聖隷リハビリテーション学術研修大会 日： 2025 年 9 月 28 日 所： 静岡県浜松市 題： 高齢ネフローゼ症候群患者に対する早期リハビリテーションの有用性～1 症例を通じて～
演		者： 加藤翔悟、三嶽侑哉、田畑吾樹、大野隼汰
学 開 場 演	会 催	名： 第 7 回聖隷リハビリテーション学術研修大会 日： 2025 年 9 月 28 日 所： 静岡県浜松市 題： 思春期特発性側弯症における LumbarStiffnessDisabilityIndex を用いた日常生活動作の経時的変化
演		者： 藤浪萌、加藤木丈英、奥村太朗、小谷俊明、佐久間毅、飯島靖、南昌平
学 開 場 演	会 催	名： 第 7 回聖隷リハビリテーション学術研修大会 日： 2025 年 9 月 28 日 所： 静岡県浜松市 題： 当院における心不全教育入院の取り組み、及び一症例の報告
演		者： 玉上一貴、三嶽侑哉、田畑吾樹

学 開 場 演 演	会 催	名： 第 52 回日本肩関節学会学術集会、第 22 回日本肩の運動機能研究会 日： 2025 年 10 月 10 日～ 11 日 所： 福岡県福岡市 題： 術後 6 ヶ月 JOA83 点到達因子とリハビリテーション終了の関連 者： 桑原康太、伊勢昇平、奥村太朗、小川侑男、廣田知佐恵
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 52 回日本肩関節学会学術集会、第 22 回日本肩の運動機能研究会 日： 2025 年 10 月 10 日～ 11 日 所： 福岡県福岡市 題： 当院における鏡視下腱板修復術後の再断裂に関与する因子の検討 者： 小川侑男、伊勢昇平、奥村太朗、廣田知佐恵、桑原康太
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 52 回日本肩関節学会学術集会、第 22 回日本肩の運動機能研究会 日： 2025 年 10 月 10 日～ 11 日 所： 福岡県福岡市 題： ARCR 後 5 週の他動外旋可動域 25 度以上の症例における再断裂の関連因子の検討 者： 奥村太朗、伊勢昇平、小川侑男、廣田知佐恵、桑原康太
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 52 回日本肩関節学会学術集会、第 22 回日本肩の運動機能研究会 日： 2025 年 10 月 10 日～ 11 日 所： 福岡県福岡市 題： 鏡視下腱板修復術後自動運動開始時の結帯と臨床成績 者： 廣田知佐恵、伊勢昇平、小川侑男、奥村太朗、桑原康太
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 33 回日本腰痛学会 日： 2025 年 10 月 10 日～ 11 日 所： 富山県富山市 題： 長期術後経過を有する思春期特発性側弯症患者における身体機能・脊椎アライメント・腰痛・HRQoL の関連 者： 加藤木丈英、赤澤努、奥村太朗、赤澤努、小谷俊明、飯島靖、佐久間毅、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 59 回日本側弯症学会 日： 2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日 所： 千葉県千葉市 題： 思春期特発性側弯症における日常生活動作の経時的変化 者： 藤浪萌、加藤木丈英、奥村太朗、小谷俊明、佐久間毅、飯島靖、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 59 回日本側弯症学会 日： 2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日 所： 千葉県千葉市 題： LumbarStiffnessDisabilityIndex を用いた思春期特発性側弯症術後患者の腰椎不撓性に関与する因子の検討 者： 奥村太朗、加藤木丈英、藤浪萌、飯島靖、佐久間毅、小谷俊明、南昌平

学 開 場 演 演	会 催	名： 第 59 回日本側彎症学会学術集会 日： 2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日 所： 千葉県千葉市 題： 長期術後経過を有する思春期特発性側弯症患者における身体機能・脊椎アライメント・HRQoL の関連(口述発表) 者： 加藤木丈英、奥村太朗、赤澤努、小谷俊明、飯島靖、佐久間毅、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 31 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 日： 東京都港区 所： 2025 年 11 月 22 日～ 23 日 題： 腹膜透析導入期における入院リハビリテーションが身体機能と ADL に与える効果 者： 田畑吾樹、矢部広樹、加藤木丈英、三嶽侑哉、大野隼汰、藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 11 回日本糖尿病理学療法学術大会 日： 2025 年 12 月 20 日～ 21 日 所： 千葉県千葉市 題： 高齢ネフローゼ症候群患者に対する早期リハビリテーションの有用性～1 症例を通じて～ 者： 加藤翔悟、三嶽侑哉、田畑吾樹、大野隼汰
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 11 回日本糖尿病理学療法学術大会 日： 2025 年 12 月 20 日～ 21 日 所： 千葉県千葉市 題： 高齢保存期慢性腎臓病患者の透析導入と社会的孤立との関連：単施設前向きコホート研究 者： 田畑吾樹、矢部広樹、加藤木丈英、三嶽侑哉、大野隼汰、藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 11 回日本糖尿病理学療法学術大会 日： 2025 年 12 月 20 日～ 21 日 所： 千葉県千葉市 題： 高齢透析導入期患者の入院関連機能障害に関連する因子の検討 者： 大野隼汰、田畑吾樹、三嶽侑哉、加藤木丈英
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 16 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 日： 2026 年 3 月 14 日～ 15 日 所： 福岡県久留米市 題： 高齢入院血液透析患者の入院関連能力低下に関連する因子の検討 者： 三嶽侑哉、矢部広樹、山口智也、田畑吾樹、大野隼汰、加藤木丈英、藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 16 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 日： 2026 年 3 月 14 日～ 15 日 所： 福岡県久留米市 題： 保存期 CKD 患者における 6 分間歩行距離の代表値と関連因子の検討 者： 田畑吾樹、矢部広樹、加藤木丈英、三嶽侑哉、大野隼汰、藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 16 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 日： 2026 年 3 月 14 日～ 15 日 所： 福岡県久留米市 題： 保存期慢性腎臓病患者の透析導入と 5 回椅子立ち上がりテストとの関連～単一施設前向きコホート研究～ 者： 大野隼汰、田畑吾樹、三嶽侑哉、川上里奈、加藤木丈英

『講義』

講	義	名：	第 25 回日本側彎症学会研修セミナーベーシックコース
開	催	日：	2025 年 12 月 13 日～ 14 日
場		所：	大阪府大阪市
演		題：	symposium3 術後管理 リハビリ 側弯症リハのポイント
演		者：	加藤木丈英

『講演』

講	演	会	名：	静岡県理学療法士協会：腎臓リハビリテーションにおけるフレイルとサルコペニア対策の重要性
開	催		日：	2025 年 4 月 20 日
場			所：	Web
講	演		名：	CKD 患者に対するリハビリテーション
講	演		者：	田畑吾樹
講	演	会	名：	第 8 回天王寺骨粗鬆症連携の会
開	催		日：	2025 年 10 月 16 日
場			所：	大阪府大阪市
講	演		名：	骨粗鬆症地域連携「さくらモデル」の 10 年 －実践から見えた成果と課題－
講	演		者：	加藤木丈英
講	演	会	名：	第 31 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 ワークショップ
開	催		日：	東京都港区
場			所：	2025 年 11 月 22 日
講	演		名：	PD 患者に対する運動療法(リハビリテーション)の可能性
講	演		者：	田畑吾樹
講	演	会	名：	Japan Bone Academy2025
開	催		日：	2025 年 11 月 23 日～ 24 日
場			所：	東京都港区
講	演		名：	聖隷佐倉市民病院の FLS の実際～理学療法士とマネジメントリーダー～
講	演		者：	加藤木丈英
講	演	会	名：	女性の健康習慣 2026 オンラインセミナー「骨量測定の実際」
開	催		日：	2026 年 3 月 11 日
場			所：	東京都台東区
講	演		名：	骨を強くする、正しい動かし方
講	演		者：	加藤木丈英
講	演	会	名：	第 16 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 よくわかるシリーズ
開	催		日：	2026 年 3 月 14 日～ 15 日
場			所：	福岡県久留米市
講	演		名：	よくわかる！腎リハの種類別アプローチと臨床応用
講	演		者：	田畑吾樹